

令和5年第1回潟上市議会定例会

令和5年度

施 政 方 針

潟 上 市 長 鈴 木 雄 大

令和5年第1回潟上市議会定例会の開会にあたり、市政の所信と令和5年度予算編成の概要を申し述べます。

令和3年4月に潟上市長に就任してから、間もなく2年となり、任期の折り返し点を迎えようとしております。この間、私たちの暮らしは、新型コロナウイルス感染症と向き合いながら、それぞれが創意工夫の下、新しい生活様式を確立しつつあり、国においても新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けを、5月8日に季節性インフルエンザと同等の5類に引き下げる方針を示しております。

本市においても、去年は天王グリーンランドまつりや成人式、文化祭などのイベントや行事が3年ぶりに開催されるなど、様々な場面で感染対策に配慮しつつも、コロナ禍前の日常が少しずつ戻り始めております。

また本年は、潟上市が誕生して19年目を迎え、11月に開催が予定されている「第146回秋田県種苗交換会」は、平成18年以来2度目の本市開催となります。歴史と伝統を誇る種苗交換会が、その礎を築いた聖農 石川理紀之助の地元である本市において開催されることは、大変喜ばしいことであり、農業者の意欲向上や最新技術の習得、本市への経済効果やPR効果が期待されるほか、小・中学生に石川翁の功績を学ぶ機会を提供できることなど、多岐にわたり重層的な効果が見込まれることから、関係機関との連携の下、万全の体制で準備を進めてまいり

ます。

国際情勢に目を向けてみると、昨年2月に始まったロシアによるウクライナ侵攻は間もなく1年を迎え、現在もとどまることなく国際秩序を乱すとともに経済の混乱を引き起こし、30数年ぶりとも言われる円安も相まって、原油価格や物価の高騰という形で私たちの暮らしにも大きな影響を及ぼしております。

こうした状況において、国では、令和5年度の経済見通しについて、物価高を克服しつつ、計画的で大胆な投資を官民連携で推進するなど新しい資本主義の旗印の下、我が国の経済を民需主導で持続可能な成長路線に乗せるための施策を推進するとし、令和5年度の実質GDP成長率を1.5パーセント程度、名目GDP成長率を2.1パーセント程度と民間需要がけん引する成長を見込む一方で、引き続き、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクと、物価上昇や供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある、としております。

県では、国の政策と歩調を合わせつつ、計画期間の2年目となる「新秋田元気創造プラン」により、若年女性の県内定着・回帰と魅力的な職場づくりを推進し、秋田で暮らす動機付けに向けた取組や賃金水準の向上、カーボンニュートラルへの挑戦、デジタル化の推進に集中的に取り組むことで、その効果の更なる積み上げを目指し、各種施策・事業を推進するとしておりま

す。

こうした国や県の動向等を鑑みながら、本市における重要課題を施策重点化の視点として整理した「第2次潟上市総合計画後期基本計画」や「第2次潟上市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の目標実現を図るため、令和5年度においても、引き続き「稼げる力」「支える力」「考える力」を重点施策の3つの柱に据え、市民が幸せを実感し、誇りや生きがいをもって暮らせる魅力あふれるまちづくりを推進してまいります。

次に令和5年度予算編成について申し上げます。

令和5年度当初予算の一般会計予算の総額は、歳入歳出それぞれ147億7,000万円で、前年度と比較して2億3,600万円、約1.6パーセント増となっております。

令和5年度の財政状況は、市税収入は増加しているものの、臨時財政対策債を含む地方交付税の減少が見込まれることから、依然として厳しい状況が続くものと予想しており、今後もプライマリーバランス黒字化継続のため、市債発行を抑制するとともに、公共施設等総合管理計画に基づく公共施設等の集約化や廃止等を進めてまいります。

こうした状況の中、令和5年度潟上市重点施策推進方針に基づき、子育て世代への支援と働く場の創出などの施策・事業に注力し、「3つの力」を有機的、横断的に結び付けた、県内就職から結婚、妊娠、出産、子育てといったライフステージに応じ

た切れ目のない支援などのソフト事業に予算を集中的に配分しております。

また、新型コロナウイルス感染症の国内での感染確認から3年が経過し、社会経済活動との両立が着実に進み、徐々に平時を取り戻しつつあることから、ワクチン接種を含む関連事業については、国の動向を注視し、必要に応じて補正予算により遺漏なく対応してまいります。

次に、令和5年度の重点施策等について申し上げます。

まずは、「稼げる力」の創造についてであります。

地域活力の源となる地域産業においては、先人から受け継がれてきた地域資源の活用や付加価値の向上による農林水産業の生産拡大に加え、雇用創出のための環境整備が必要です。このため、就農促進と農業生産性の向上を目的に「稼げる力！農業生産体制強化応援事業費補助金」では、農業用ドローン等を新たに対象に加え、農業DXにも対応した拡充を図るとともに、ドローン操縦技能習得支援として「ドローンオペレーター育成費補助金」を創設し、スマート農業の普及促進や収益性の高い水田農業と高収益作物への作付け転換を推進してまいります。

雇用促進対策については、新たに市役所内に「無料職業紹介所」を開設し、市内における求職・求人のマッチングを促し、市民の就業場所の確保と市内企業の人材不足の解消を図ること

に加え、「潟上市企業移住者雇用イベント参加支援事業」を新設し、県外での人材確保を支援してまいります。

「創業支援補助金」では、女性や若者の支援枠の創設に加え、移住者枠の上限額引き上げによる拡充を図り、市内における創業者の増加を目指してまいります。

また、中小企業や個人事業所が抱える課題解決に向け、「中小企業等稼げる力創出事業」や「事業者ICT化支援事業」を継続的に実施することにより、市内事業者の経営基盤の強化を支援してまいります。

次に、「支える力」の創造についてであります。

人口減少や少子高齢化、核家族化が進展する中、地域住民相互のつながりが希薄化し、身近な地域内で支え合う機能が低下しており、子育てに対して不安を抱えている市民への対応が課題となっております。子どもたちの健やかな成長をライフステージに応じて応援するための「かたがみ未来子育て応援金」の支給や子どもの医療費自己負担分を助成する「福祉医療給付事業」を継続するほか、子育て支援センターの運営、ファミリーサポートセンター事業などにより、安心して子どもを生み育てる環境づくりを推進してまいります。

また、多胎妊産婦などを対象とした「産前産後サポート事業」や「子育て支援アプリオンライン相談事業」により、産前産後における外出や家事等を支援するとともに、新たに「伴走型相

談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的実施事業」を創設し、妊娠期から出産・子育て期までの支援体制の充実を図ってまいります。

本市では、女性の就業率上昇や一部地域での人口増加などにより、今後も保育ニーズの高まりが見込まれる中、待機児童の解消に向けた取組を進めるとともに、施策や事業を有機的、横断的に結び付けることで、妊娠・出産・子育て期まで切れ目のない支援を充実してまいります。

一方、65歳以上の方を対象として、新たに带状疱疹ワクチン接種費用を助成するほか、緊急通報体制整備事業により、一人暮らし等高齢者の緊急時の安全性と利便性を高めるなど、高齢者支援体制の強化を図ってまいります。

次に、「考える力」の創造についてであります。

少子高齢化による人口の減少と現下の厳しい行財政運営が今後も続くと想定しており、地域の特性を生かしたまちづくりや地域課題の解消など、複雑多様化する市民ニーズに柔軟に対応することが重要であると認識しております。このため、市職員自らが考え行動することはもとより、市民の積極的なまちづくりへの参画による対話と交流を通じ、互いに知恵を出し合い、取組を進めることが肝要であると考えております。

また、地域においては、自治会等の担い手不足など、地域が抱える課題は深刻化しており、単独での活動が困難となる組織

が今後も増加すると想定しており、「地域づくりチャレンジ支援事業」を創設し、地域の実情に即した自治組織のあり方を検討しながら、持続可能な地域コミュニティづくりに向けた取組を推進してまいります。

本市における様々なサービスの担い手である生産年齢人口が将来的に大きく減少することが見込まれる中、令和5年度を初年度とする「潟上市DX推進計画」に基づき、行政手続の簡素化や事務の効率化を図ってまいります。

デジタル技術を戦略的に活用することで、市税のコンビニ・スマホ・クレジット納付やWEB口座振替受付サービスの導入、母子手帳アプリによるオンライン相談など、市民の利便性の向上を図るとともに、複雑多様化する市民ニーズや行政課題に柔軟に対応し、将来にわたり安定した市民サービスの維持に努めてまいります。

次に、特別会計予算及び企業会計予算について申し上げます。

特別会計予算及び企業会計予算の総額は116億7,637万4千円で、前年度と比較して6億3,871万4千円、約5.8パーセント増となっております。

このうち、社会保障関係の3特別会計予算総額は78億8,345万7千円、企業会計のうち水道事業会計の予算総額は20億3,764万円、下水道事業会計の予算総額は17億5,228万3千円となっております。

以上が、令和5年度の施政方針及び重点施策であります。

私は、市長に就任して以来一貫してふるさと潟上の将来を見据えた重点施策の柱として「稼げる力」「支える力」「考える力」の3つの力を視点として加え、「進化する潟上」の創造を目指し、市民の皆様が「幸せ」を実感し、誇りや生きがいをもって暮らせる、魅力あふれるまちづくりを推進する、と申し上げてまいりました。そのためにも既存の施策や事業の見直しを大胆に実行し、限られたリソースの選択と集中により市政課題の解決を目指すとともに、主役である市民の皆様が目線に立ちながら、あらゆる場面において、しっかりと説明責任を果たし、市民と市議会、行政の協働による「進化する潟上」の創造に向け、全力で取り組む所存であります。

議員各位並びに市民の皆様には、今後も市政への一層の御支援と御協力を心からお願い申し上げます、私の施政方針といたします。